

令和8年度 事務事業評価シート（1）

[令和7年度事務事業]

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業	
事務事業名	前立腺がん検査				事業番号	011-190	
担当部署名	健康福祉局	局	健康部	部	健康推進課	課	

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画2025	施策との関連	有・無	戦略	2.人生100年時代の健康・福祉 ～Well-being～	施策	(1)健康で長生きできる都市の実現	
			有	取組の方向性	②生活習慣病の発症予防・重症化の予防			
		寄与するKPI	有・無	指標名	—			
			無	現状値	—		目標値	—
	堺市SDGs未来都市計画2021-2025	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(3)すべての人に健康と福祉を	ターゲット	3.8	
			有	取組	検診や予防接種の受診体制の整備			
		寄与するKPI	有・無	指標名	—			
			無	現状値	—		目標値	—
2	関連計画			さかい健康プラン				
3	事業開始年度			令和 29 年度		点検対象年度（堺市基本計画2030）		令和 12 年度
4	実施根拠			がん対策基本法、堺市がん対策推進条例、堺市前立腺がん検査の実施に関する要綱				

事業の概要

5	事業の実施主体	本庁		
6	事業の対象	50歳～69歳の男性市民（偶数年齢）	対象数	単位
			約29,500	人
7	事業の目的	前立腺がんの予防意識の向上を図り、将来的な前立腺がんによる死亡者の減少を実現する。		
8	事業内容	・検査内容 問診 血液検査（PSA値測定） ・受診方法 受診希望者は直接医療機関へ検査を申し込む。 前立腺がん検査は、胃・肺・大腸がん検診、又は堺市国民健康保険特定健康診査と同時受診となる。 ・検査結果により、要精密検査になった方には精密検査を案内している。		
	※国・府の基準より上回って実施した内容			
9	主な支出先	一般社団法人堺市医師会		
10	公民連携・協働事業			

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標	単位	実績		目標	目標	
	悪性新生物（前立腺がん）の死亡率 （人口10万人対）	－	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和12年度	
			目標値	21.9	21.9	21.4	21.4
			実績値	24.3	集計中		
			達成率	89%	—		
当該指標を選定した理由	前立腺がんによる死亡者を減らすという本事業の目的と合致するため。						
目標値の設定根拠・算出方法	過去 3 年間の平均値(R4-R6)から悪化させないという観点で設定。						

12	活動指標	単位	実績		目標		
	前立腺がん検査受診者数	人	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
			目標値	1,916	1,553		1,693
			実績値	1,553	1,693		
			達成率	81%	109%		
当該指標を選定した理由	検査受診によって、前立腺がんを早期に発見し、適切な治療につなげることで、前立腺がんによる死亡者の減少につながるため。						
目標値の設定根拠・算出方法	前年度実績値						

令和8年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名		前立腺がん検査				事業番号		011-190					
Ⅲ. 投入量													
事業コスト													
※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）													
項 目		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度					
		決算		決算		当初予算		当初予算					
13	財 源 内 訳	事業費（a）		6,531		5,281		9,126		5,827		5,953	
		国支出金		0		0		0		0		0	
		府支出金		0		0		0		0		0	
		市債		0		0		0		0		0	
		その他（ ）		0		0		0		0		0	
		受益者負担金(使用料、手数料等)		0		0		0		0		0	
		一般財源		6,531		5,281		9,126		5,827		5,953	
14		人件費（b）		810		810		840		840		870	
15		年間経費（c）=（a）+（b）		7,341		6,091		9,966		6,667		6,823	
事業費の内訳													
（単位：千円）													
16	事 業 費 内 訳	項 目		年度		事業費	うち 一般財源	項 目		年度		事業費	うち 一般財源
		前立腺がん検査		R7	決算	5,707	5,707			R7	決算		
				R8	予算	5,798	5,798			R8	予算		
		消耗品費		R7	決算	0	0			R7	決算		
				R8	予算	1	1			R8	予算		
		印刷製本費		R7	決算	92	92			R7	決算		
				R8	予算	120	120			R8	予算		
		通信運搬費		R7	決算	22	22			R7	決算		
				R8	予算	22	22			R8	予算		
		手数料		R7	決算	6	6			R7	決算		
				R8	予算	12	12			R8	予算		
		Ⅳ. 事業の効率性											
		単位当たり経費											
17		区 分		単位		令和6年度		令和7年度					
		① 受診者数		人		1,556		1,693					
		② 上記①にかかる年間経費		千円		6,091		6,667					
		③ 単位当たり経費（②÷①×1,000円）		円/単位		3,915		3,938					
		算出についての説明等											
Ⅴ. 評価													
費用対効果に係る所見													
18		令和2年度より、受診回数を50歳～69歳の間に1回から、50歳～69歳の偶数年齢時へ変更、令和2年度より自己負担金を無償化したことにより、受診者数は令和3年度まで増加した。令和4年度は受診者数が減少し、以降も令和7年度まで増減を繰り返している。 前立腺がんの検診の周知や、がんに関する正しい知識の普及など、積極的な啓発活動が必要である。											
		KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）											
19		身近な医療機関での検査を可能にすることで、検査を希望する市民への受診環境を整えることができている。 また、市民が前立腺がん検査を定期的に受診し、早期発見・早期治療につながることで、健康寿命の延伸に寄与したと考える。 全国的に前立腺がん検査の普及に伴い、前立腺がんが発見されることから罹患率は急増している。死亡数もゆるやかに増加傾向にあるが、5年生存率は99%と高く、早期発見・早期治療へ取り組むことで、堺市基本計画2025の「健康で長生きできる都市の実現」やさかい健康プランの「個人の行動と健康状態の改善」にも寄与したと考える。 今後も、ICT（SNS等）や企業連携の機会を活用した多種多様な手法で啓発や受診勧奨を実施し、5がんに加え前立腺がん検査の周知や正しい知識の普及を行うなど、受診者数の増加に向けて取り組む。											
		令和3年度からの実績等を踏まえた事業の必要性・有効性に係る所見（前年度の事務事業評価で点検対象年度を令和7年度とした事業のみ記載）											
20	必 要 性	■ 高い □ 低い		前立腺がんは早期発見・早期治療により高い生存率が見込まれることから、本事業は対象者の健康意識の向上や受診行動の促進を通じて、健康寿命の延伸に寄与するものと考えられる。									
		有 効 性	■ 高い □ 低い										